

平成 25 年度離島漁業再生支援交付金による取組概要

1 集落協定の概要

都道府県名：愛媛県

市町村名：松山市

協定締結集落名：元怒和集落

交付金額：5, 168 千円

協定参加世帯数：38 人（うち漁業世帯 38 人）

2 協定締結の経緯

元怒和集落は、良好な漁場を有し、一本釣り漁業、刺し網漁業が盛んな一方、アワビの養殖も行われており、漁業は島の基幹産業となっている。しかし、近年は漁業者の減少や高齢化が進行している。また、魚価の低迷に加え燃料費の高騰により、離島の漁業集落を取り巻く環境は厳しい状況におかれている。

こうしたことから、漁場環境の保全、沿岸漁業資源の保護、新規養殖業の導入、はまちの蓄養などの取組により、漁業集落の活性化、所得の向上を目指して離島交付金による漁業再生活動に取り組むこととした。

3 取組の内容

①漁場の生産力の向上に関する取組状況

- ・キジハタを 2,500 匹放流し、資源の増大を図った。
- ・景観や自然環境を保全するため、集落周辺の海岸清掃を実施した。（年間 2 回）
- ・密漁や違反操業又は違反漁具の使用等から地先資源の保護及び漁具の保全を図るため、漁場監視を行った。（年間 10 回）

②集落の創意工夫を活かした取組状況

- ・所得の向上と集落の活性化を図るため、水産物の簡易加工に共同で取り組み、加工品と鮮魚等をイベントで販売した。
- ・ハマチの蓄養に共同で取り組み、所得の向上と集落の活性化を図った。
- ・ヒジキの養殖に共同で取り組み、集落の活性化を図った。

4 取組の成果

- ・キジハタの種苗放流を実施することにより、資源の増加が見込まれる。
- ・海岸清掃を実施することにより、自然環境の保全が図ることができた。
- ・漁場監視を実施することにより、地先資源の保護が図られ、違反操業が減少し、漁獲量の増加も見込まれ漁家の収入安定が期待される。
- ・ハマチの蓄養、ヒジキ養殖等水産物の簡易加工に共同で取り組み、イベントに加工品を出品し漁家所得の向上と、漁業生産力の向上が図られた。

種苗放流	漁場監視
	
ヒジキの養殖	ヒジキの養殖（加工）
	
はまちの蓄養	水産物加工品のイベント販売
	

